

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 主要経済指標予定 (2008年2月11日~2月15日)

発表日: 2008年2月8日(金)

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 日本経済短期チーム
TEL: 03-5221-4528

(2月11日~2月15日の主なイベント、指標予定)

	指標名	当社予測	市場予測	市場予測レンジ	前回結果
2月11日 (月)	建国記念日				
2月12日 (火)					
2月13日 (水)	8:50 1月企業物価指数 (前月比)	+0.1%	0.0%	▲0.2%~+0.2%	+0.4%
	(前年比)	+2.9%	+2.8%	+2.6%~+3.0%	+2.6%
	8:50 12月国際収支 経常収支(前年比)	▲0.1%	—	—	+2.1%
	(原数値)	17,800 億円	17,188 億円	16,481 億円~21,153 億円	17,825 億円
	14:00 1月消費動向調査 消費者態度指数(一般世帯)	—	—	—	38.0
2月14日 (木)	8:50 10-12月期 GDP1次速報 実質 GDP 成長率 (前期比)	+0.7%	+0.4%	0.0%~+0.7%	+0.4%
	(同年率)	+2.7%	+1.7%	+0.3%~+2.7%	+1.5%
	名目 GDP 成長率 (前期比)	0.0%	0.0%	▲0.3%~+0.5%	+0.2%
	GDP デフレーター (前年比)	▲1.1%	▲0.9%	▲1.2%~▲0.2%	▲0.4%
	13:30 12月鉱工業生産指数・確報 鉱工業生産指数(前月比)	—	—	—	+1.4%
	(前年比)	—	—	—	+0.7%
	稼働率指数 (前月比)	—	—	—	▲1.6%
	生産能力指数 (前年比)	—	—	—	+0.7%
	13:30 12月商業販売統計・確報 小売業販売額(前年比)	—	—	—	+0.2%
	金融政策決定会合(~15日)				
2月15日 (金)	8:50 1月製造業部門別投入・産出物価指数 交易条件(前月差)	—	—	—	▲0.9%pt
	(前年差)	—	—	—	▲3.3%pt
	15:00 2月金融経済月報				
	15:30 日銀総裁定例記者会見				

(注) 市場予測はBloombergの調査をベースに作成

【重要指標の当社予測とコメント】

12月国際収支・経常収支(原数値) 当社予想: 1兆7800億円 中央値: 1兆7188億円

12月の経常黒字額は前年比▲0.1%、原数値で1兆7800億円を予測する。すでに発表された貿易統計をみると、輸出はアメリカ向けが引き続き減少したことに加え、欧州向けやアジア向けも伸びが鈍化するなど、主要地域で揃って拡大ペースが減速した。一方、輸入は原油価格高騰を背景に高い伸びが続いたため、貿易黒字の縮小幅は拡大したと予想する。所得収支については資産残高の増加を背景に黒字幅の拡大基調は続いたとみる。全体としてみれば、原油価格高騰に伴う貿易黒字の縮小を所得収支が埋め合わせ、経常黒字は前年横ばい程度を維持したと考える。(副主任エコノミスト: 柵山順子)

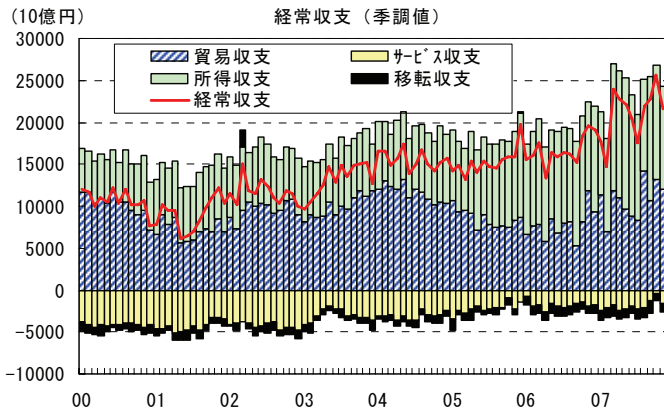
本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

10-12月期GDP 1次速報・実質GDP成長率 当社予想：前期比年率 +2.7% 中央値：同 +1.7%

2007年10-12月期の実質GDP成長率（2月14日公表予定）は前期比+0.7%（同年率+2.7%）と、潜在成長率を上回ると予測する。住宅投資が前期に続いて大幅に落ち込んだ一方で、輸出の高い伸びが景気の押し上げ要因になったとみられる。また、設備投資も高めの伸びとなり成長を支えた模様だ。外需主導とはいえ、潜在成長率を上回ると予想されることには一定の評価が可能だろう。2007年後半に関しては、住宅部門の下押しというマイナス要因があった割には景気は比較的底堅い推移を続けていたとみられる。

ただし、2008年1-3月期以降については下振れリスクが増しており、モメンタムは下向きである。10-12月期の牽引役だった輸出が減速する可能性が高まっていることが最大の要因だ。設備投資も伸びが鈍化するとみられるほか、個人消費にも悪材料が多い。住宅投資が前期比でプラスに転じ、下押し寄与が解消されることは大きなプラス要因だが、景気全体としてみれば減速に向かう可能性が高いだろう。米国の景気動向次第では日本も景気後退局面入りする可能性が十分ある。（主任エコノミスト：新家義貴）

図表 1



(出所) 財務省、日本銀行「国際収支統計」

図表 2

図表 2007年10-12月期GDP予測

	実質		名目	
	前期比	前期比年率	前期比	前期比年率
国内総生産(GDP)	0.7	2.7	0.0	0.2
内需寄与度	0.3	1.1	0.3	1.2
(うち民需)	0.3	1.0	0.2	1.0
(うち公需)	0.0	0.1	0.1	0.2
外需寄与度	0.4	1.6	▲0.3	▲1.0
民間最終消費支出	0.3	1.0	0.3	1.3
民間住宅	▲9.9	▲34.1	▲9.9	▲34.1
民間企業設備	2.3	9.5	2.2	8.9
民間在庫品増加(寄与度)	0.0	0.1	0.0	0.2
政府最終消費支出	0.1	0.4	0.3	1.1
公的固定資本形成	0.2	0.8	0.1	0.3
財貨・サービスの輸出	3.2	13.4	1.4	5.7
財貨・サービスの輸入	0.9	3.6	3.2	13.5

GDPデフレーター(前年比)	▲1.1
国内需要デフレーター(前年比)	0.1

以上

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

2月の経済指標公表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
28 12月企業向けサービス価格指数(8:50) (米)12月新築住宅販売件数	29 12月労働力調査(8:30) 12月一般職業紹介状況(8:30) 12月家計調査(8:30) 12月商業販売統計(8:50) (米)12月耐久財受注 (米)1月CB消費者信頼感指数	30 12月鉱工業指数(8:50) (米)10-12月期実質GDP(速報値) (米)FOMC	31 12月毎月動労統計(10:30) 12月住宅着工統計(14:00) 西村日銀審議委員挨拶 2年利付国債 (米)12月個人所得・消費 (米)12月PCEデフレーター (米)12月求人広告指数 (米)1月シカゴPMI (欧)1月消費者物価(速) (フィリピン)10-12月期実質GDP	2/1 12月家計消費状況調査(14:00) 1月自動車販売(14:00) 1月軽自動車販売(14:00) (米)1月雇用統計 (米)1月ISM製造業指数 (米)1月ミシガン大センチ(確) (米)1月自動車販売 (米)12月建設支出 (欧)1月製造業PMI(確定値)
4 1月マネタリーベース(8:50) (米)12月製造業受注	5 10年利付国債	6 12月景気動向指数(14:00)	7 岩田日銀副総裁挨拶 10年物価連動国債 (米)12月中古住宅販売保留 (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策決定会合	8 12月機械受注統計(8:50) 1月マネーサプライ(8:50) 1月貸出・資金吸収(8:50) 12月特定サービス産業動態統計調査(13:30) 1月景気ウォッチャー調査(14:00)
11	12	13 1月企業物価(8:50) 12月国際収支(8:50) 1月消費動向調査(14:00) 5年利付国債 (米)1月小売売上高	14 10-12月期GDP1次速報(8:50) 12月鉱工業指数・確(13:30) 12月商業販売統計・確(13:30) 金融政策決定会合(～15日) (米)12月貿易収支 (仏)10-12月期実質GDP (欧)10-12月期実質GDP (独)10-12月期実質GDP	15 1月投入・産出物価指数(8:50) ※1月全国百貨店売上高(14:30) 2月金融経済月報(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) (米)1月輸入物価 (米)2月ミシガン大消費者センチ(速) (米)12月対米証券投資 (米)1月鉱工業生産 (米)2月NY連銀製造業指数
18 2月ロイター短観(8:30) 12月第3次産業活動指数(8:50) 12月毎月動労統計・確(10:30) 12月景気動向指数改訂(14:00) 12月建設総合統計(14:00)	19 15年変動利付国債 (米)2月NAHB住宅市場指数 ※(台湾)10-12月期実質GDP	20 金融政策決定会合議事要旨(1月21・22日分)(8:50) 1月コンビニエンスストア統計(16:00) ※2月月例経済報告 (米)1月消費者物価 (米)1月住宅着工件数 (米)2月建設許可件数 ※(欧)2月製造業PMI(速報値)	21 12月全産業活動指数(8:50) ※1月貿易統計(8:50) (米)2月フィラ連銀指数 (米)1月景気先行指標	22 1月チェーンストア販売統計(14:00) 福井日銀総裁講演
25 (米)1月中古住宅販売件数 (タイ)10-12月期実質GDP ※(スロニア)10-12月期実質GDP	26 1月企業向けサービス価格指数(8:50) 20年利付国債 (米)2月CB消費者信頼感指数 (独)2月ifo景況感指数	27 (米)1月耐久財受注 (香港)10-12月期実質GDP	28 1月鉱工業指数(8:50) 1月商業販売統計(8:50) 2年利付国債 (米)10-12月期実質GDP(改定値) (米)1月求人広告指数	29 1月消費者物価・全(8:30) 2月消費者物価・都(8:30) 1月労働力調査(8:30) 1月一般職業紹介状況(8:30) 1月家計調査(8:30) 1月住宅着工統計(14:00) (米)1月個人所得・消費 (米)1月PCEデフレーター (米)2月ISM製造業指数 (米)2月ミシガン大センチ(確)

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

3月の経済指標公表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
3/3 1月毎月勤労統計(10:30) 2月自動車販売(14:00) 2月軽自動車販売(14:00) (米)2月自動車販売 (米)1月建設支出 (欧)2月消費者物価(速) (欧)2月製造業PMI(確定値)	4 2月マネタリーベース(8:50) 1月家計消費状況調査(14:00) 10年利付国債	5 10-12月期法人企業統計(8:50) (米)10-12月期非農業部門労働生産性(確) (米)1月製造業受注 (米)2月ISM非製造業指数 (米)ページブック	6 1月景気動向指数(14:00) 金融政策決定会合(～7日) (米)1月中古住宅販売保留 (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策決定会合	7 3月金融経済月報(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) (米)2月雇用統計 (米)1月消費者信用残高
10 1月機械受注統計(8:50) 2月マネーサプライ(8:50) 2月貸出・資金吸収(8:50) 1月特定サービス産業動態統計調査(13:30) 2月景気ウォッチャー調査	11 5年利付国債 (米)1月貿易収支	12 10-12月期GDP2次速報(8:50) 2月企業物価(8:50) 1月国際収支(8:50) 金融政策決定会合議事要旨(2月14・15日分)(8:50) 2月消費動向調査(14:00) (米)2月財政収支	13 1月鉱工業指数・確(13:30) 1月商業販売統計・確(13:30) (米)2月輸入物価 (米)1月企業在庫 (米)2月小売売上高	14 2月投入・産出物価指数(8:50) ※3月月例経済報告 (米)2月消費者物価 (米)3月ミンガン大消費者センチ(速)
17 1月第3次産業活動指数(8:50) 1月毎月勤労統計・確(10:30) 1月景気動向指数改訂(14:00) 1月建設総合統計(14:00) (米)2月鉱工業生産 (米)10-12月期経常収支 (米)1月対米証券投資 (米)3月NAHB住宅市場指数 (米)3月NY連銀製造業指数 (欧)3月製造業PMI(速報値)	18 20年利付国債 (米)FOMC (米)2月住宅着工件数 (米)2月建設許可件数	19 3月ロイター短観(8:30) 1月全産業活動指数(8:50)	20 (米)2月景気先行指標 (米)3月フィラ連銀指数 ※(欧)3月製造業PMI(速報値)	21 10-12月期資金循環(8:50) 2月コンビニエンスストア統計(16:00)
24 1-3月期法人企業景気予測調査(8:50) ※2月チェーンストア販売統計(14:00) ※平成20年地価公示 (米)2月中古住宅販売件数	25 ※2月全国百貨店売上高(14:30) 2年利付国債 (米)3月CB消費者信頼感指数	26 2月企業向けサービス価格指数(8:50) ※2月貿易統計(8:50) (米)2月耐久財受注 (米)2月新築住宅販売件数 (独)3月Ifo景況感指数	27 (米)10-12月期実質GDP(確定値) (米)2月求人広告指数	28 2月消費者物価・全(8:30) 3月消費者物価・都(8:30) 2月労働力調査(8:30) 2月一般職業紹介状況(8:30) 2月家計調査(8:30) 2月商業販売統計(8:50) (米)3月ミンガン大センチ(確) (米)3月個人所得・消費 (米)3月PCEデフレーター
31 2月鉱工業指数(8:50) 2月毎月勤労統計(10:30) 2月住宅着工統計(14:00) (米)3月シカゴPMI (欧)3月消費者物価(速)	4/1 3月日銀短観(8:50) 3月自動車販売(14:00) 3月軽自動車販売(14:00) 2月家計消費状況調査(14:00) 10年利付国債 (米)3月ISM製造業指数 (米)2月建設支出 (米)3月自動車販売 (欧)3月製造業PMI(確定値)	2 3月短観業種別計数及び調査全容(8:50) 3月マネタリーベース(8:50) (米)2月製造業受注	3 10年物価連動国債 (米)3月ISM非製造業指数	4 (米)3月雇用統計

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。